

令和 8 年度

関東支社管内 道路概略設計業務

特記仕様書（案）

令和 8 年 5 月

東日本高速道路株式会社

関 東 支 社

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 令和8年度 関東支社管内 道路概略設計業務

1-1-2 路線名 東日本高速道路株式会社 関東支社管内

1-1-3 履行箇所 東日本高速道路株式会社 関東支社管内

### 1-1-4 主な履行内容

項目	数量	備考
現地踏査	1 式	
道路設計 予備設計	9.6 km	縮尺 1:2,000 の地形図を用いた予備設計
連絡等施設設計 予備設計	2 箇所	縮尺 1:2,000 の地形図を用いた予備設計 I C : 2 箇所
連絡等施設設計 概略設計	4.6 km	
設計打合せ	1 式	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

（1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

（2）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

（3）完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送

信される。なお、変更時と完了時の間が１５日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### １－４ 履行期間

本業務は、共通仕様書１－１３「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者又は照査技術者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から１０日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式－１）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から１００日間

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から４６０日間

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

## 1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 及び 5-2-3 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
管理用図面	契約締結後に 監督員より通知	契約締結の日の 翌日より 7 日以内 (注)	電子データ
J C T 予備設計成果品	契約締結後に 監督員より通知	契約締結の日の 翌日より 7 日以内 (注)	電子成果品

注) 監督員が貸与資料の返却を求めた場合は、速やかに返却するものとする。

土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏季休暇（3日）を除く。

## 1-6 計画工程表

### 1-6-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」（2）に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式-2）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1-9-3 「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
道路設計 予備設計	設計計画（計画条件の協議・決定）	
	設計計画（計画概要書の作成）	
	平面・縦断設計	
	平面図作成	
	縦断図作成	
	標準横断図作成	
	横断図作成	
	数量計算	
連絡等施設設計 予備設計	連絡等施設予備設計 1 / 2000	
連絡等施設設計 概略設計	設計計画（計画条件の協議・決定）	
	設計計画（計画概要書の作成）	

	平面・縦断設計	
	平面図作成	
	縦断図作成	
	標準横断図作成	
	横断図作成	
	数量計算	
設計打合せ	—	

#### 1－6－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

#### 1－7 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1－8 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組み内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、工事打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は、周辺の地形及び土地利用状況、都市計画、主要交差道路や鉄道交差等の制約条件を考慮し道路線形及び道路構造の検討を行うものである。

設計にあたっては、共通仕様書5-3-1「道路設計 予備設計」、5-4-1「連絡等施設設計 予備設計」及び5-4-2「連絡等施設設計 概略設計」を適用する。

### 2-2 現地踏査

本特記仕様書2-3「道路予備設計」及び2-4「連絡等施設概略設計」に必要な現地状況等の基本事項を把握することを目的として、共通仕様書1-25、5-3-1(1)及び5-4-2(1)に示す現地踏査を行うものである。公共交通機関を用い積算上の基地からそれぞれ片道40km程度の移動で、通勤による現地踏査を見込んでいる。なお、本特記仕様書2-4「連絡等施設概略設計」に関する現地踏査の日数は、既に供用済み路線におけるI C、J C Tの検討であるため、1日で踏査するものとする。

### 2-3 道路予備設計

#### 2-3-1 設計条件

道路予備設計における設計条件は、以下のとおりとする。

##### (1) 本線

- i) 道路規格 : 第1種 第2級
- ii) 設計速度 :  $V=100\text{ km/h}$
- iii) 車線数 : 2方向、4車線
- iv) 計画交通量 : 契約締結後に監督員より通知
- v) 標準横断図 : 盛土部、橋梁部の計2断面

##### (2) 連絡等施設

- i) ランプ規格 : A規格
- ii) 計画交通量 : 契約締結後に監督員より通知
- iii) 設計箇所 : 2箇所

## 2-3-2 区分

本業務における地形区分は下記のとおりとする。

地形区分及び対象延長			備 考
平地部	山地部	急峻山地部	
9.6 km	—	—	

なお、設計位置・範囲の大幅な変更を監督員が指示した場合、費用は別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

## 2-4 連絡等施設概略設計

### 2-4-1 設計条件

連絡等施設設計における設計条件は、以下のとおりとする。

- i) ランプ規格 : A規格
- ii) 計画交通量 : 契約締結後に監督員より通知
- iii) 設計内容 : 供用中の本線、I C及びJ C Tにおける料金所新設に伴う連絡等施設概略設計

IV) 設計箇所 : 下表の通り

路線名	箇所
京葉道路	篠崎 I C
	京葉市川 I C
	原木 I C
	花輪 I C
	幕張 I C
	武石 I C
	京葉 J C T B・Hランプ (東京外環道高谷 J C T方面から京葉道路下り線・東京外環道松戸方面から京葉道路下り線)
	京葉 J C T D・Fランプ (東京外環道松戸方面から京葉道路上り線・東京外環道高谷 J C T方面から京葉道路上り線)
	本線 (首都高～篠崎 I C間)

なお、設計位置・範囲の大幅な変更を監督員が指示した場合、費用は別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

## 2-5 設計打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め8回とする。当初の打合せは現地踏査時に行い、打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社 関東支社で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

また、Webカメラ及びWeb会議システム等を活用して打合せを実施する場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

## 2-6 交通費・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・宿泊費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、Web会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

## 2-7 成果品

報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

## 2-8 補足事項

下記に示す事項については、本業務の設計計画及び関係機関との協議の結果、業務の変更及び追加する可能性があるため、監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は、速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は別途監督員と協議を行うものとする。

(1) 道路予備設計及び連絡等施設予備設計箇所の追加・変更



様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 関東支社  
支社長 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

調査等名 令和8年度 関東支社管内 道路概略設計業務

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

## 1 設計業務

(全体履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)  
(実履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

項 目	日 程	計画準備																																																																																																																								備 考
		〇月					〇月					〇月					〇月					〇月					〇月					〇月					〇月					〇月					〇月					〇月																																																																						
1. 設計計画																																																																																																																										
2. 既往資料の確認・整理																																																																																																																										
3. 現地調査																																																																																																																										
4. 設計条件の整理																																																																																																																										
5. 道路詳細設計																																																																																																																										
①縦断設計																																																																																																																										
②平面図作成	・路線図・平面図・線形図・伐開除根求積図																																																																																																																									
③縦断面作成																																																																																																																										
④横断面作成																																																																																																																										
⑤土積図作成																																																																																																																										
⑥用排水設計																																																																																																																										
6. 附帯工設計																																																																																																																										
①溝渠工設計	・ボックスカルバート、パイプカルバート等																																																																																																																									
②擁壁工設計																																																																																																																										
③詳細図作成																																																																																																																										
④図面修正	・平面図・縦断面図等																																																																																																																									
7. 数量計算																																																																																																																										
8. 概略施工計画																																																																																																																										
9. 施工への送り事項																																																																																																																										
10. 照 査																																																																																																																										
11. 報告書作成																																																																																																																										
12. 監督員による成果品確認																																																																																																																										
13. 電子成果品作成																																																																																																																										
14. 設計打合せ																																																																																																																										
15. 業務検査																																																																																																																										

## 2 関連業務資料

[illegible]

### 3 貸与資料

[illegible]

#### 4 關係機關協議

[illegible]

#### 4 その他懸案事項

[illegible]

## 5 協議內容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成上のポイント(記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を確認の上作成すること)

- ① 適切な工程管理(履行期の確保)を図ることを目的とする。
- ② 進捗する設計業務や設計業務ならびに関係機関による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間に及ぼすことのないよう、資料入手、条件提示、対外協議の期限を明確化する。
- ③ 協議時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、打合を時期、内容に工程上の遅れがないと確認する。
- ④ 照会の時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した照会作業が実施されていると確認する。
- ⑤ 本工程表は作業計画書に添付することにより、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計業務の防止、品質の確保を図る。

⑥ なお、本書式は固定のものではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用すること。

⑤ 必要の、半面式の図  
とを基本とする。

- ※作成時の留意事項
- ① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと
  - ② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。
  - ③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。

## 6 照查内容

照査時期、照査内容、照査結果	<p><b>照査①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：基本条件、設計条件検討時</li> <li>・照査内容：基本条件の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>	<p><b>照査②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：設計方針、最終形式案決定時</li> <li>・照査内容：細部条件の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>	<p><b>照査③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照査時期：成果品納入前</li> <li>・照査内容：成果品の照査</li> <li>・照査結果：</li> </ul>
----------------	---	--	--

※作成時の留意事項

- ① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと
- ② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること。
- ③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し確認を行うこと。